



平成27年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月12日
東

上場会社名 株式会社エイチーム 上場取引所
コード番号 3662 URL <http://www.a-tm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 高生
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 光岡 昭典 (TEL) 052-527-3091
四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年7月期第3四半期の連結業績(平成26年8月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年7月期第3四半期	11,264	23.8	1,642	61.9	1,711	65.6	1,083	82.8
26年7月期第3四半期	9,099	8.7	1,014	△24.0	1,033	△23.0	592	△27.4

(注) 包括利益 27年7月期第3四半期 1,096百万円(85.6%) 26年7月期第3四半期 590百万円(△27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年7月期第3四半期	55.96	55.40
26年7月期第3四半期	30.82	30.36

(注) 当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年7月期第3四半期	7,190	5,142	70.0
26年7月期	5,504	4,198	75.1

(参考) 自己資本 27年7月期第3四半期 5,037百万円 26年7月期 4,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年7月期	—	10.00	—	—	—
27年7月期(予想)	—	—	—	7.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。平成26年7月期及び平成27年7月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成27年7月期期末(予想)につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割実施前に換算すると、1株あたり15円となります。

3. 平成27年7月期の連結業績予想(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	28.8	2,000	37.7	2,000	36.0	1,200	48.5	61.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。平成27年7月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年7月期3Q	19,384,000株	26年7月期	19,349,200株
② 期末自己株式数	27年7月期3Q	一株	26年7月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年7月期3Q	19,359,158株	26年7月期3Q	19,228,606株

当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、上記株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内のインターネットを取り巻く市場は、インターネットの利用者数が平成25年末時点で1億44万人（前年同期比392万人増）に達しており、人口普及率は82.8%となりました（総務省の平成25年「通信利用動向調査」平成26年6月公表）。

モバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成26年12月末のスマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた携帯電話端末契約数は1億2,511万件となり、人口普及率98.5%に達し、うち、スマートフォン契約数は6,544万件（構成比52.3%）となりました（MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測」平成27年2月公表）。

このような状況の下、エンターテインメント事業では継続して既存スマートフォンアプリの効率的な運用を進めながら、新規ゲームアプリをリリースいたしました。一方、ライフスタイルサポート事業では引き続き各サービスの機能やSEO（注）の強化等、ユーザビリティやカスタマーサポートの品質向上に注力しながら、繁忙期におけるプロモーションやブランディングの強化を実施してまいりました。

（注）SEOとは、「Search Engine Optimization」の略で、検索エンジンの検索結果として上位表示されやすいようにサイトを最適化することです。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,264,939千円（前年同四半期比23.8%増）、営業利益は1,642,885千円（前年同四半期比61.9%増）、経常利益は1,711,190千円（前年同四半期比65.6%増）、四半期純利益は1,083,327千円（前年同四半期比82.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業では、スマートフォンアプリの企画・開発・運営、グリー株式会社との協業によるソーシャルゲームの運営を行っております。

スマートフォンアプリにつきましては、平成27年3月26日に新規ネイティブゲームアプリ「三国大戦スマッシュ！」（爽快ひっぱり大戦アクション）をリリースいたしました。平成26年12月にリリースした「ユニゾンリーグ」（新感覚リアルタイムRPG）は平成27年4月17日より放映のTVCMが奏効し、4月にはリリース以来最高の月次売上を達成し、エンターテインメント事業のセグメント売上を大きく上げました。既存の主要3タイトルである「ダークサマナー（Dark Summoner）」、「ダービーインパクト」及び「レギオンウォー（War of Legions）」は引き続き利益率の高いタイトルとして寄与し、エンターテインメント事業は四半期で過去最高の売上を達成いたしました。

グリー株式会社との協業によるソーシャルゲーム「AKB48ステージファイター」につきましては、これまで同様にグリー株式会社のタイトルとして「GREE」の中で提供され、当社グループはグリー株式会社から分配される収益を売上として計上しております。

平成26年1月に設立した、NHN Entertainment Corporation（本社：韓国）との合弁会社である株式会社Ateam NHN Entertainmentにつきましては、市場環境の変化ならびに両社の事業環境の変化を踏まえ、資本提携関係を解消し、合弁会社を解散することといたしました。なお、同社と資本提携を解消した後も同社ならびにメッセージングプラットフォーム運営事業者と構築してきた友好的な関係は継続いたします。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,449,878千円（前年同四半期比16.2%増）、セグメント利益は1,362,811千円（前年同四半期比38.9%増）となりました。

<ライフスタイルサポート事業>

ライフスタイルサポート事業では、日々のサイトの改善、プロモーション活動などにより順調に利用者を増やし、引越し比較・予約サイト(「引越し侍」)、車査定・車買取サイト(「ナビクル」)は継続して業界トップクラスのシェアを維持しております。

「引越し侍」、「ナビクル」及び自転車通販サイト「cyma-サイマー」は繁忙期のため、利用者数が増加し、それぞれ過去最高の四半期売上を達成いたしました。キャッシング・カードローン総合検索サイト「ナビナビキャッシング」につきましては、引き続きサイト改善やユーザビリティの向上等、様々な施策に取り組みながら利用者数を増やしております。

また、「すぐ婚navi」を中心としたブライダル事業は、継続してTVCMを放映し、引き続きブランディングの強化に注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,815,061千円(前年同四半期比31.8%増)、セグメント利益は873,777千円(前年同四半期比48.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,190,842千円となり、前連結会計年度に比べ1,686,256千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加628,508千円、金銭の信託の増加513,427千円及び現金及び預金の増加399,733千円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,048,146千円となり、前連結会計年度に比べ742,365千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加697,872千円によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,142,696千円となり、前連結会計年度に比べ943,891千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加889,750千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

引き続き「今から100年続く会社」を目指して、「エンターテインメント事業」と「ライフスタイルサポート事業」をバランスよく伸ばすことで、一定の成長性を確保しながらも経営基盤の安定を図ってまいります。

エンターテインメント事業におきましては、「ユニゾンリーグ」を含む既存の主要タイトルが計画を上回る推移となりました。「ユニゾンリーグ」は平成27年5月14日に全世界127ヶ国向けに英語版をApp Store、Google Playにてリリースし、同6月には台湾IWPLAY社と繁体字圏(台湾、香港、マカオ)配信における独占ライセンス契約を締結しておりますが、寄与日数が限られているため、収益寄与は保守的にみております。

また、当連結会計年度において、さらに新規タイトルをリリースする予定であります。リリース時期や売上寄与において不確実性が高いため、売上は予想に織込まず、大規模の広告投資を行わない前提で、通常運用に必要とする費用を計上し、利益を算定しております。

なお、人員計画において、ゲームアプリの開発・運営強化のため、8月を目処に東京スタジオを開設し、積極的な採用活動を行う予定であります。当連結会計年度において、大幅な人員の増加は想定しておりません。

以上を勘案したエンターテインメント事業の通期売上・利益は、計画を上回る着地となる見込みであります。

ライフスタイルサポート事業におきましては、主要5サービスである引越し比較サイト(「引越し侍」)、車査定・車買取サイト(「ナビクル」)、結婚式場情報サイト(「すぐ婚navi」)、及びキャッシング・カードローン総合検索サイト(「ナビナビキャッシング」)、自転車通販サイト(「cyma」)が総じて売上・利益ともに計画を上回る着地となる見込みであります。

以上を踏まえ、平成27年7月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

上記の将来に対する記述、連結業績予想数値は本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。エンターテインメント事業においては、グローバル化が進む中、急速に変化するマーケット及び当該資料発表日以降にリリース予定の新規タイトルは不確実性が高いため、業績が大きく乖離する可能性があります。ライフスタイルサポート事業においては、単年度の利益よりも一定のシェアを確保することを重視する点及び競合サービスとの競争激化も勘案し、緩やかな成長を見込んでおります。

平成27年7月期 通期業績見通し(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

売上高	15,500百万円	(前連結会計年度比 28.8%増)
営業利益	2,000百万円	(前連結会計年度比 37.7%増)
経常利益	2,000百万円	(前連結会計年度比 36.0%増)
当期純利益	1,200百万円	(前連結会計年度比 48.5%増)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,217,390	2,617,124
受取手形及び売掛金	1,229,868	1,858,376
有価証券	169,451	203,783
金銭の信託	—	513,427
たな卸資産	79,858	39,999
その他	354,765	375,879
貸倒引当金	△17,206	△7,753
流動資産合計	4,034,126	5,600,837
固定資産		
有形固定資産	120,359	119,049
無形固定資産	355,447	532,175
投資その他の資産		
投資有価証券	519,819	513,809
敷金及び保証金	328,355	292,644
その他	151,406	137,186
貸倒引当金	△4,929	△4,858
投資その他の資産合計	994,652	938,780
固定資産合計	1,470,459	1,590,005
資産合計	5,504,586	7,190,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,337	77,515
未払金	660,431	1,358,303
未払法人税等	283,055	292,900
販売促進引当金	13,640	18,904
その他	293,315	300,521
流動負債合計	1,305,780	2,048,146
負債合計	1,305,780	2,048,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,797	532,380
資本剰余金	504,597	506,180
利益剰余金	3,094,876	3,984,627
株主資本合計	4,130,271	5,023,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	933	13,907
その他の包括利益累計額合計	933	13,907
新株予約権	67,600	105,600
純資産合計	4,198,805	5,142,696
負債純資産合計	5,504,586	7,190,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)
売上高	9,099,824	11,264,939
売上原価	1,657,070	1,670,810
売上総利益	7,442,753	9,594,129
販売費及び一般管理費	6,427,756	7,951,244
営業利益	1,014,997	1,642,885
営業外収益		
受取利息	4,786	21,893
為替差益	11,440	38,712
その他	4,992	44,262
営業外収益合計	21,220	104,868
営業外費用		
支払利息	530	326
持分法による投資損失	1,187	29,992
その他	1,133	6,243
営業外費用合計	2,852	36,562
経常利益	1,033,365	1,711,190
特別利益		
投資有価証券売却益	—	37,544
特別利益合計	—	37,544
特別損失		
減損損失	33,637	30,825
特別損失合計	33,637	30,825
税金等調整前四半期純利益	999,727	1,717,909
法人税等	407,092	634,582
少数株主損益調整前四半期純利益	592,635	1,083,327
四半期純利益	592,635	1,083,327

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月1日 至平成26年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	592,635	1,083,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,857	12,973
その他の包括利益合計	△1,857	12,973
四半期包括利益	590,777	1,096,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590,777	1,096,301

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,688,592	4,411,231	9,099,824	—	9,099,824
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,688,592	4,411,231	9,099,824	—	9,099,824
セグメント利益	981,300	589,176	1,570,477	△555,480	1,014,997

(注) 1. セグメント利益の調整額△555,480千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	ライフスタイル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,449,878	5,815,061	11,264,939	—	11,264,939
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,449,878	5,815,061	11,264,939	—	11,264,939
セグメント利益	1,362,811	873,777	2,236,589	△593,703	1,642,885

(注) 1. セグメント利益の調整額△593,703千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成27年5月1日を効力発生日として、平成27年4月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

(1) 株式分割の目的

当社の最近の株価及び取引高の動向を踏まえ、株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げ株式の流動性を高め、より投資しやすい環境を整えることで投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 分割により増加した株式数

普通株式 9,692,000株

(3) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割による1株当たり情報に及ぼす影響については、「サマリー情報」に記載しております。

資金の借入

当社は、平成27年5月19日開催の取締役会において資金の借入を決議し、1,700,000千円の借入を行いました。

(1) 資金用途

本社移転及び東京スタジオ開設のためであります。

(2) 借入先の名称

三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、大垣共立銀行、岐阜信用金庫

(3) 借入金額及び借入条件

当座貸越により1,700,000千円を調達し、利率は市場金利を勘案して決定しております。

(4) 借入の実施時期

平成27年5月25日から平成27年5月29日

(5) 担保提供資産又は保証の内容

無担保・無保証

合弁会社の解散及び自己株式の取得

当社は、平成27年6月12日開催の取締役会において、NHN Entertainment Corporation（以下、「NHNエンターテインメント」という。）との資本提携関係を解消し、同社との合弁会社である株式会社 Ateam NHN Entertainmentを解散することを決議いたしました。また当社は、当該取締役会において、同社が保有する当社株式580,000株を上限として自己株式の取得を行うことを決議いたしました。

(1) 理由

市場環境の変化及び両社の事業環境の変化を踏まえ、当社とNHNエンターテインメントとの資本提携関係を解消したためであります。

(2) 解散する合弁会社の名称、事業内容、持分比率

合弁会社の名称	株式会社 Ateam NHN Entertainment
事業内容	メッセージングプラットフォーム向けを中心とするスマートフォン向けゲームタイトルの企画・開発
持分比率	当社50%、NHNエンターテインメント50%

(3) 解散の時期

平成27年6月12日の取締役会決議後速やかに解散し、平成27年9月に清算終了の予定であります。

(4) 合弁会社の状況（平成27年4月30日現在）

資産総額	235,539千円
負債総額	871千円

(5) 当該解散による会社への損失見込額及び営業活動等へ及ぼす重要な影響
影響は軽微であります。

(6) 自己株式取得の方法、取得する株式数、取得価額

自己株式取得の方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け
取得する株式数	580,000株（上限）
取得価額	2,000,000千円（上限）

(注) 平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。なお、上記は株式分割後の株式数を記載しております。

(7) 自己株式取得の時期

平成27年6月15日から平成27年6月26日